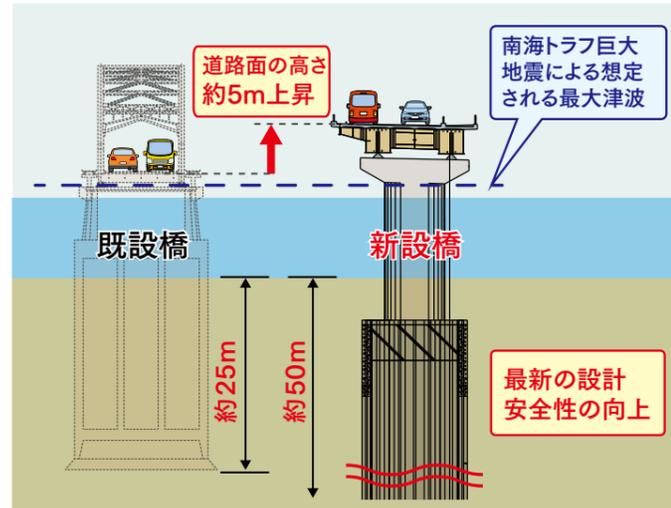


架け替えによる整備効果

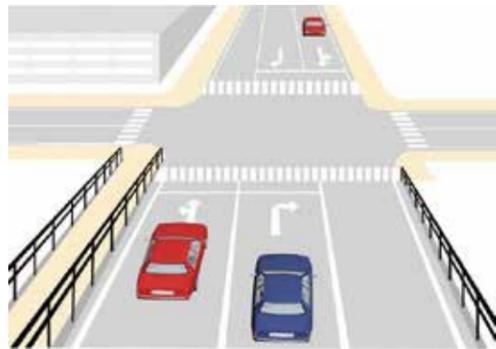
災害に強い道路

新しい橋の道路面は、現在の橋と比べて約5メートル高くなり、南海トラフ巨大地震における想定最大津波高よりも高い位置となります。また、最新の橋梁基準に基づいて設計されていることから、耐震性にも優れ、災害時の避難経路や物資輸送路の確保につながります。



新しい伊勢大橋の建設状況
(令和3年4月撮影)

渋滞の緩和



伊勢大橋を含む桑名東部拡幅区間の1キロメートルあたりの渋滞量は、県内の国道渋滞平均の約3.4倍となっています。伊勢大橋西側の交差点および中堤交差点には新たに右折レーンが設けられる計画であり、交通混雑の緩和が見込めます。

物流の効率化



現在の伊勢大橋は耐荷力不足により、特殊車両の輸送が制限されています。新しい橋の完成により、現在は迂回を余儀なくされている車両も通行できるようになり、生産拠点間の輸送時間が短縮されます。



令和2年度橋梁下部工事施工状況
(汚濁防止フェンス・仮橋を設置しての工事)

完成イメージ

伸びゆくまち・桑名

桑名のまちづくりが進んでいく様子をお伝えしていくシリーズです

工事が着々と進んでいます

令和3年3月11日に市長が会長である国道1号桑名東部拡幅事業促進期成同盟会で現地を視察しました。架け替えは、川が増水しやすい出水期(6月～9月)を避け、騒音や水質の汚濁防止に細心の注意を払いながら24時間体制で進められています。

現在、橋脚15基の内、11基が完成し、3基が施工中です。さらに橋脚1基と橋台1基の施工の発注が今年度に予定されています。



現地視察の様子

令和5年度に橋梁上部工事に着手決定

第23弾 生まれ変わる伊勢大橋

国道1号桑名東部拡幅事業によって、伊勢大橋の架け替えが進められています。新しい橋が架かることにより耐震性の強化や渋滞の緩和が期待されています。国が「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(中部ブロック版)」を策定し、令和5年度に伊勢大橋の橋梁上部工事に着手することを発表しました。市では、引き続き早期完成に向けて要望していきます。

この記事のお問い合わせは、土木課(☎24-1262 ☎23-4115)または、国土交通省北勢国道事務所(☎059-363-5511)へ。